



Vol.29

はんチューナーズ便り

発行人
看護部長室

伝達講習会がありました！

今年度「奈良県指導者講習会」に参加していた
 外来：横井看護師 3C：乾看護師が学んだ内容を発
 表してくれました。
 聴講していて、新たなことを学びとても良い講習会で
 した。
 お疲れさまでした。



せん妄 VR 体験研修に参加しました。



奈良県看護連盟の研修で「せん妄VR体験」の研修があり2名が参加しました。
 講師は、周南公立大学の松浦純平教授です。

QRコードをスマートフォンで読み込み、動画をVR眼鏡で見ます。
 実際に患者さんが体験しているだろう画像を見ました。

せん妄になった時にはこのような映像を実際に体験している患者さんが、看護
 師につかみにきたり、大きな声を出したりするのは「当たり前だな」と思ったと
 話していました。研修の次の日に、せん妄を発症した方がおられて、「研修で
 学んだことと同じことを患者さんが言っている！」と言っていました。今までも、
 せん妄のケアは、丁寧にしていましたが、実際に体験してみると、患者さん
 の見えているものがわかり、よりせん妄ケアに役立つと思います。

VR術後せん妄擬似体験システムの3の目的

- 1 せん妄を発症した患者さんが「見えている世界」、「感じている恐怖や孤独」
を可視化する
- 2 看護師をはじめとした医療従事者が仮想現実(VR)を通して疑似大変する
ことで、せん妄患者さんの内面を理解する
- 3 せん妄看護の考え方、特に暴れられるから身体拘束を実施するという安易
な従来の看護について誤った認識を根底から変えるパラダイムシフトを目
指す <https://knowledge.nurse-senka.jp/501413> から引用



看護部長のひとりごと

先日、医療マネジメント学会第20回奈良県支部学会に共同演者として参加させていただきました。特別講
 演で、元阪神タイガース監督の矢野さんが話されていたことが印象に残りました。

「自分の可能性を信じ切る」ということです。「自分の可能性を信じ切る」「相手の可能性を信じ切る」を指
 導・経営哲学の根幹とされています。失敗を恐れず挑戦する「超積極的」な姿勢を重視されています。

なかなか成長が見られないスタッフも「のびしろ」だと関り見守っています。

もう一步、「信じてチャンスを与えてあげられる」文化をつくってみます。